

令和6年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	249	学校名	仙台市立加茂中学校	校長名	澁谷 広司
------	-----	-----	-----------	-----	-------

1 取組のタイトル、テーマ

日常生活のエコ活動と地域連携



2 取組の紹介

○エコキャップ運動

ボランティア委員が呼び掛けを行い、家庭や地域の福祉施設からペットボトルキャップを回収しています。この活動はプラスチックごみの削減や障がい者の方々の就労支援につながるとともに、回収業者に渡した後は、世界中の子どもたちにワクチンを届ける活動につながっています。



○地域ボランティア活動

地域の方から「中学生の力を借りたい」という依頼をたくさんいただき、希望する生徒が地域の祭りの実行委員として活動したり、ボランティア委員や2学年の生徒が学校周辺の落ち葉掃きなどを行ったりしました。写真は2学年が総合の時間にバス通りの落ち葉掃きを行った時の様子です。



○花壇整備活動

ボランティア委員会の活動の一環として、校地内の花の植え替え作業を年2回行い、水やりを毎日ボランティア委員が交代で行いました。体育館前の花壇と生徒昇降口前のプランターにきれいな花が咲き続けました。



○3学年総合学習

今年度の3学年は、3年間SDGsをテーマに総合学習を行ってきました。3年目の今年度は修学旅行で「スモールワールズ TOKYO」を訪問し、体験活動を行ったり、事後学習でテーマに基づく発表会を行ったりしました。写真はスモールワールズ TOKYOで生徒が作成したポスターです。



3 取組の成果（児童生徒の変容）

現在エコキャップ運動は、1か月で回収ボックスに入りきれないくらいの量のペットボトルキャップが回収されます。また、花壇整備や水やり、地域のボランティア活動では、生徒たちが意欲的に活動する様子が随所に見られました。SDGsをテーマにした学習にも取り組んだことで、生徒のボランティアなどに関する意識が向上しているように感じます。今後もこれらの活動を継続していくとともに、更にSDGsに関わる取組を考えていきたいと思えます。